



—— ごあいさつ ——

弥生。皆様がだにはたいへんお忙がしい中をご来場いただきまして、まことにありがとうございます。

ご後援をいただきました県教育委員会、盛岡市、岩手日報社、岩手放送をはじめ、たくさんの方がたの御好意により、今宵ここに第12回目の定期演奏会を開催できますことは、団員一同の喜びであり、心から感謝申し上げる次第です。

今回の演奏会はすべて日本の作品でまとめました。とくに前回まで過去3回にわたりとりあげてまいりました、石井敏氏の作品。そして千葉了道先生や団員の作品。春間近かのこの季節にふさわしい“春を呼ぶ歌”など、日本の心、郷土のこころ、日本の歌の美しさを心ゆくまで味わっていただきたいと思います。

未熟な点も多くあると思いますが、みなさまの暖いご支援をいただきながら精一杯「手づくり」の味が出せるよう歌います。

どうか最後までご鑑賞いただき、後にご批評を賜われれば幸いと存じます。

今夜はほんとうにありがとうございました。

…… 北声会とともに ……

千葉了道

例年10月から11月にやっていた定演が、3月になつてしまいました。これは指揮者の私が色々の事情で昨年九月まで練習を休んだためでありました。この事は団員の皆様にも、ほんとうに申訳ないことをしたと思つています。

“やつぱり私は北声会をやるう”と決心した頃はもう秋でした。幸い委員長の石川勉先生が練習を続けていて下さつたので、どうやらここまで参りました。

今度のプログラムは、いわゆる音楽会という感じの気軽なものに致しました。北声会合唱団のもっている一面とも言えるかと思ひます。練習不足の曲もありますけれど、どうか最後まで、みんな一諸に歌うところまでおつきあいして下さい。

時には気軽な曲もいいと思つています。